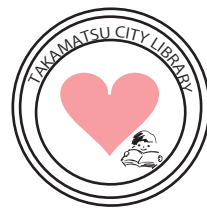


2025年3月

高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



たかまつアートさんぽ

・・・男木島 編



雪がちらつく寒さが厳しい1月末頃。男木島にある高松市立男木小学校・男木保育所におはなし会のためお邪魔しました。約2か月に1度開催しているもので、いつも楽しんで聞ってくれる子どもたちのため、プログラムづくりには気合が入ります。

雌雄島と高松を行き来する「めおん号」には海外からのお客さんも多く、みなさん大きなカバン、カメラを首からさげ、冷たい海風を感じながら美しい景色を楽しんでいました。

男木島に到着して最初に目に入るのは、2010年の瀬戸内国際芸術祭で設置された作品でもある、ジャウメ・プレンサ《男木島の魂》。島の観光案内や待合室の役割も果たしているこの作品は、透明の建物を囲む水面に屋根に構成された文字が映り、よく晴れたこの日は水面まで美しく楽しめました。たくさんの方がまずはここで足をとめ、建物をぐるりと回って写真撮影をされていました。

男木小学校へ向かうと、体育館の側面全体に描かれた青空と雲が。2016年から会期外でも観賞できるレジーナ・シルベイラ《青空を夢見て》です。この日の天気のように見るだけで清々しくなる作品です。

フェリーを待つ間に少し歩くと豊玉姫神社の鳥居があり、参道は急な坂道へと続いていました。進む途中で振り返ると、乗り場周辺が一望できる絶景がひろがっていました。神社では島の猫が出迎えてくれました。

このほか島には、有名な石造りの灯台やアート作品、私設の図書館もあります。今年開催の瀬戸内国際芸術祭ではたくさんの人を迎えるであろう魅力あふれる男木島に、ぜひ足を運んでみてください。



このあとお腹をみせてくれた島猫さん



豊玉姫神社



参考文献

『瀬戸内国際芸術祭2022公式ガイドブック アートと島を巡る旅』

北川フラム、瀬戸内国際芸術祭実行委員会 / 監修 現代企画室 2022年 T7069/ セト

*** 中央図書館 3月の休館日のお知らせ *** 3日、10日、17日、20日～31日 (システム更新のため)

サンクリスタル高松リニューアルのため、館報はしばらく休刊となります。新しい中央図書館をお楽しみに！



今月のおすすめ本

あたたかい桜の季節はもう目前！

春が待ち遠しくなる本を紹介します♪



『地名の魔力 惹きつけ、惑わす、不思議な力』

今尾 恵介 / 著 PHP 研究所 2024年 2910/ イマ

地名は自分以外の相手に説明するために使われるもので、様々な状況で命名されては都合により変化し、ときには消滅していきます。読み方に方言が含まれているものや、付けられた時期によって特徴があることなど、地名の背景にある歴史や由来に関する知識が詰まっており、縁ある土地の由来について興味が湧いてきます。



『SNSのモヤモヤとの上手なつきあい方』

Poche / 著 あさ出版 2024年 1468/ ホツ

職場や学校で繋がっている人とのSNS上のやりとりで起こる小さな悩みに、心理カウンセラーである著者がやさしく答える1冊。友だちの充実した日常に嫉妬してしまう、元同僚や取引先とのフォローを外してもよいのかなど、誰しも経験したことのある「モヤモヤ」をシーン別に紹介しています。



『心も体もよろこぶ養生酒大全100』

福光 佳奈子 / 著 自由国民社 2024年 4985/ フク

身近な食材とお酒で誰でも簡単に短時間で作れる、大人のためのレシピ本です。なんとなく感じる体の不調を効能別に、季節ごとの好きな食材を使って楽しみながら作るレシピが満載です。季節や環境の変化に疲れるこの時期、参考にしてみてもいかがでしょうか。



『万国博覧会—知られざる歴史とSDGsとのつながり— (シリーズ・とは何か?)』

稲葉 茂勝、渡邊 優 / 著 ミネルヴァ書房 2023年 6069/ イナ

いよいよ4月に開催される、大阪・関西万博。まずは冒頭のクイズで、知っているようで知らない知識を振り返ってみましょう。本書では万博の歴史や日本との出会いなどを分かりやすく解説しており、驚くようなエピソードが満載です。今回の万博に行く方も、そうでない方にもおすすめです。

SNSで情報発信中！



図書館イベント情報、お知らせなどは
SNSからもチェックできます！

Instagram



Facebook



Follow me★

館内展示

『気持ち^{てん}をコトバにのせ展』



期間：3月1日（土）～4月29日（火・祝）

場所：2階 展示コーナー

伝えたいことを言葉にできていますか？デジタル社会となり、画面上で“言葉を文字として打つ”ことが多くなった今、改めて言葉の温かさや奥深さを感じることをテーマにした企画展です。“伝える”ことを楽しく体験できるコーナーも設置しています。新しい出会い、また別れのあるこの時期、日頃の思いを自分の言葉で伝えてみませんか？

行事報告

高松市図書館 ボランティア養成講座

「絵 × 文 × 声」絵本のちからをひもとこう！

1月25日（土）午前10時～11時30分
@サンクリスタル高松3階 第二集会室



絵本専門士・図書館司書・JPIC 読書アドバイザーである轟あさ子さんを講師に迎え、子どもたちを引きつける絵本のもつ力についてお話いただきました。版を重ねるごとに時代に合わせて絵の構成を変え、今でも大切に読まれている作品や、おはなし会を通して子どもたちが特に反応してくれた講師おすすめの作品の紹介など、絵本の魅力をたっぷり語る充実した時間となりました。



英語で楽しむ大人のための朗読会

2月1日（土）午後2時～3時
@サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール



音楽 × 英語 × 落語を楽しむイベントを開催しました。朗読は長町篤さんによる英語落語『寿限無』『動物園』、日本昔話『鼠嫁入』、図書館員が日本語朗読をしました。また朗読に合わせ、虹色サクソフォンカルテットさんによるスタジオジブリのテーマ曲メドレーをはじめとした、来場者全員が楽しめる演奏をしていただきました。会場では笑いが起こり、素敵な演奏に胸打つ方も多く、「楽しかったです」とたくさんの方に声をかけていただきました。



中央図書館3月行事予定

・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1 ●ひよこの学校 11:00~ ●なかよしかみしばい 14:00~
2 ☆よみきかせたい Jr. おはなし会 11:00~	3	4	5 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	6 ●えいごあそび 11:00~	7	8 ●おはなしのかけはし 14:00~
9 ●伝々虫のおはなし会 10:00~ ●えほんくらぶのおはなし会 14:00~	10	11	12	13	14	15 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~
16	17	18 ●えいごの おはなし会 11:00~	19	20 春分の日	21	22
システム更新のため、臨時休館						
23/30	24/31	25	26	27	28	29
システム更新のため、臨時休館 (~3/31 まで)						

図書館員の小部屋

このコーナーでは、毎月ちがう図書館員からの
おすすめ資料などを紹介していきます。

『悪霊がいっぱい!?』小野不由美 / 著

小野不由美といえば「十二国記」シリーズが有名ですが、今回は「悪霊」シリーズを紹介したいと思います。このシリーズは講談社ティーンズハート文庫から刊行されたホラー小説です。ホラー要素はそこまで強くないので、苦手な人でも読みやすくなっていますが、巻を重ねていくと怖い部分もしっかりあるので、ホラー好きにもおすすめです。

主人公・麻衣は、高校の旧校舎で起こる心霊現象の調査に訪れた「渋谷サイキックリサーチ」所長のナルを手伝うことになるところからお話ははじまります。所員のリンさん、坊主のぼーさん、巫女の綾子、霊媒の真砂子、エクソシストのジョンといった個性的なキャラとのやりとりは必見です。

長年入手が不可能だった「悪霊」シリーズですが、2010年にメディアファクトリーの幽BOOKSより「ゴーストハント」として全面改稿されたものが刊行されています。中央図書館ではどちらも所蔵しているので、読み比べても面白いかもしれません。いなだ志穂によるコミカライズもあります。ちなみに、本編終了後のお話である講談社ホワイトハート文庫から刊行された『悪霊の棲む家』はリライトされていないので、文庫でお楽しみください。(S)

視聴覚だより 2階 AV コーナー

特集『追悼2024』

CD

『ベートーヴェン：交響曲第9番合唱』11/ハト

『思い出のアニソン80's』37/オモ

DVD

『ロング、ロングバケーション』D11/ロン

『ちびまる子ちゃん-夏のお楽しみまつり ふしぎ編-』

D31/チビ

VHS

『太陽がいっぱい』V15/タイ

DVD

《ピックアップ作品》

『アイ・アムまきもと』D21/アイ

牧本は人知れず亡くなった人を埋葬する市役所の「おみおくり係」。その係が停止になり、最後の埋葬者の身寄りを探すうちに、彼にも変化が起こっていく。

主演・阿部サダヲ。監督は「舞妓 Haaaan!!!」の水田伸生。

